令和７年１１月２４日（休）　さいたま市新庁舎整備基本設計説明書（素案）等に係る市民説明会　質疑応答

質問順	項目	質疑	回答
1	1	駐輪場が650台しかないのは少なすぎるのではないか。その根拠は何か。	現庁舎の駐輪場利用状況を調査し、現庁舎地に残る機能である浦和区役所と新庁舎に移転する機能の比率を考慮して決定しました。
	2	「開かれた庁舎とセキュリティの確保」とあるが、セキュリティを強化する目的は何か。	個人情報等を多く扱うため、執務室への立ち入りを制限するセキュリティについて確保する必要があると考えています。 一方で、執務フロアにある集約窓口までは、市民の方はどなたでも自由に来られる計画としています。
2	1	今後の事業費が750億を超える可能性があるとのことだが、増加した事業費をどうやって支払っていくのか。	財源の確保の方法は、持続可能で安定的な財政運営に向けて中期的な財政収支を考えながら全庁的に取り組んでおり、新庁舎の財源については、平成21か年から積み立てをしている「さいたま市庁舎整備基金」や「市債」、「国庫の補助金」を活用していきます。 「市債」は、支出額の平準化には有効と考えています。また、「国庫の補助金」については現在、設計途中のため、設計内容に応じて使用可能な補助金の種類について検討している段階となります。
	2	今後、資材価格の更なる上昇があった場合、規模の縮小や延期の選択肢について検討していないのか。	資材の高騰については、設計途上段階であることから、材料の選択や工法の選択による事業費の減額を引き続き検討していきます。
	3	現在の庁舎も数年前に耐震改修をしたところではないのか。小学校の冷暖房などの改修の方が緊急性が高いのではないか。	事業の優先度については、関連する部署と連携して庁内でしっかり検討してまいります。
	4	市民の意見を聞く方法は今の方法で良いのか。各公民館へ出向いて説明に回るなど、市民への説明の機会も改めるべきではないか。	基本計画段階においても同様に説明会を行い、市民の方の意見を聞きながら進めてまいりましたが、今回の説明会は、いままで以上に多くの方に参加していただいており、今後の市民の方の意見を聞く方法については、改めて検討していきたい考えています。
3	1	新庁舎の建設費だけでなく、現庁舎（浦和）をどうするのか、解体や維持にかかるコストも含めた「全体計画」を示さないとミスリーディングになるのではないか。	現庁舎の利活用については新庁舎移転後のR13年度以降に行います。そのため、まだ利活用の検討が深度化しておらず、かかるコストについてはお示しできませんが、コストをかけずに民間活力を活用しながら進める想定をしています。
	2	この説明会からパブリック・コメントの意見募集期間の終了が短いのではないか。	市の標準的な期間（約1ヶ月）を設定しており、10月27日から開始としています。
	3	入札不調が続く中、際限なくコストが上がる懸念がある。「ここまでは出すがそれ以上は立ち止まる」という上限を決めるべきではないか。	事業費の高騰については全庁的に協議・検討しています。
	4	資料に「ユニバーサルレイアウト」「ユニバーサルデザイン」「ABW」「NSBPI」など横文字の言葉が多く、わかりにくい。丁寧な説明がほしい。	今後、ご意見を参考にさせていただきます。
	5	感染症対策やセキュリティのリスク分散の観点から、一極集中（巨大な建物）ではなく、機能を分散させた方が今の時代に合っているのではないか。	分散型の方針については、頂いた意見を参考に今後検討させていただきます。
4	1	今回の説明会の会場がTOIROとなったのは何故か。市の施設を使えば説明会のコスト削減もできたのではないか。	今回は、環境影響評価調査計画書の説明も兼ねることから、新庁舎の敷地があるさいたま新都心で行いたいと考えました。一方で、さいたま新都心には今回の参加募集人数を収容できる市の施設がないため、TOIROを利用しました。
	2	新庁舎は、さいたま新都心のためだけの施設ではないので、各区の公民館などで説明会をやっていくべきではないか。	今後の市民の方への意見徴収の方法については、改めて検討していきたい。
5	1	現在さいたま市はヘリコプターを所有しているのか。 ヘリを所有していない場合、今後に消防などでヘリを導入していく前提とした計画なのか。また、現在新都心の周辺にヘリポートはあるのか。	さいたま市ではヘリコプターを所有していないが、ヘリポートの利用用途としては県が所有する防災ヘリによる消防活動や火災以外の災害等の有事の際には、自衛隊のヘリの離着陸等を想定しています。 また、新都心周辺のヘリポートについては、「合同庁舎」や「さいたま赤十字病院」にあるが、災害時にはそれぞれの役割があり、そういった観点からも市庁舎にもヘリポートが必要だと考えています。
	2	他の自治体にも展望台があると思うが、時が経つにつれて利用者が少なくなっているように思う。費用対効果として必要なものと納得できる説明をしてほしい。	展望施設は、市民のシビックプライドの醸成という観点からも必要な機能と考えています。例えば、市内小学校の社会科見学など、年間通じて学校ごとに来てもらい、継続的に若い世代へ市の観光資源は、どういったものがあるかというところを伝えていければと考えています。 また今回、市民の方以外にも訪れてもらうため、市民利用機能も備えています。合わせて継続して使っていただく形とするために運用面も含めて考えていきたい思います。
	3	デッキで駅から庁舎までつなぐのはとても良いと思うが、スーパーアリーナでイベントがあると非常に混雑する、エレベーターもベビーカーなどで混雑する状況がある。バリアフリーの観点からも新都心の周辺整備としてエレベーターの増設なども考えているのか。	ご指摘いただいたような状況は我々も認識はしており、新都心の混雑を新庁舎の方に流していくことで、市民利用機能として設置する市民広場のにぎわいを生み出すという考えを持っています。 また、敷地内のデッキと地上を繋ぐ動線については、障害者の方、もしくはお子様連れベビーカーの方など、様々な方の利用を想定し、設計検討しています。 一方で、ご指摘の主旨である新都心エリア全体の整備を合わせてやっていくかとという点については、関連する部署のと情報共有して、より使いやすい形での整備ができればと考えています。
6	1	駅から庁舎へ向かう歩行者動線がコクーンシティを迂回しているように見えるが、施設管理上の問題なのか教えてほしい。	さいたま新都心駅からのルートについては、記載したもの以外に、商業施設の営業時間内に限り、商業施設の中をそのまま直進することも可能となるように、商業施設の管理企業と協議しながら進めています。 ただ、商業施設内のルートは、視覚障害者誘導用ブロックや屋根が無い部分もあるため、バリアフリーの観点からも、それらを備えている部分を想定ルートとして示しています。 また、記載のルートは、都市計画法における地区計画で地区施設として位置付けされているものになります。
	2	2階平面計画図を見ると、行政棟と風除室の間は屋根がかかっていないように見えるが雨に濡れずにエントランスまで行けるのか。	基本的に屋根をつなげ、濡れずにアクセスできるよう設計を進めています。
	3	風洞実験について、突風や竜巻、また敷地内の民間施設が建った場合の影響なども考慮されているか。	民間機能については、現時点で具体的な設計があるわけではないため、想定される建物のボリュームを加味した模型で風洞実験を行い、その影響について検討しています。 その結果を環境影響評価でしっかりと評価をし、風が強まる場所には植栽等の対策を検討していきます。
7	1	さいたま新都心の近くの大宮南小学校はプレハブが建ち、校庭が狭められている。そういった状況では、小学生が社会科見学で展望台を利用しても喜ばないのではないか。それよりも老朽化・狭隘化している施設の解消を優先すべきではないか。	大宮南小学校の件は、仮設校舎の状況など認識しておりますが、先日、教育委員会から保護者に向け、今後の方針について説明があったと伺っています。 また、展望施設についても社会科見学という位置づけで、教育委員会とは今後の運営も含め検討しているところです。また新庁舎よりも医療や教育に関しての事業が優先されるべきではないかという意見があったという点については、担当部署と共有させていただきます。
8	1	計画に時間をかけすぎているからコストが上がるのではないか。もっとスピーディーに検討を進める努力をしてもらいたい。	計画を迅速に進めることはコスト抑制につながると考えていますが、一方で市民の方から意見を聞くプロセスも重要と考えているため、ご理解いただきたいと考えています。
	2	高齢者などは「市役所より区役所を使う」という人が多い。せっかく作るなら、高齢者や若者がもっと利用したくなるような配慮が必要ではないか。	政令指定都市の本庁舎は、市民の利用用途が少ないため、展望機能や市民利用機能によって市民に来てもらうという点を大事にしており、様々な世代の市民に来てもらえる市民利用機能を構築したいと考えています。キッチンカーや音楽イベント等も運営面で検討していく方針です。
9	1	環境影響評価の工事前の調査は、「いつ」「どのような調査を行うか」について、配布資料「あらまし」のどこに記載されているのか。	工事前の調査項目・日程については、「あらまし」の5ページから7ページまでに記載しております。 （補足）「工事中」や、「供用開始後の建物の存在」により影響が考えられる項目について、「工事前」に調査を行う。
	2	土壌汚染の調査はいつ、どのように行うのか？	土地区画整理事業や、バスターミナル建設時など過去の土地利用履歴があるため、工事前にそれらの文献による調査を行います。
	3	ヘリポート設置にかかる費用はどの程度なのか。	ヘリポート整備費は約4億円を想定しております。
	4	外広場やさいたま新都心公園を臨時のヘリポートとして活用する考えはないのか。	外広場およびさいたま新都心公園については航空法等の関係でヘリの離着陸はできないとされています。
	5	物資輸送ならヘリコプターよりトラックの方が量・効率ともに優れているのではないか。 防災中枢拠点として新庁舎に防災機能を集約するのではなく、他の区役所と連携して市全体で防災対策できるように、機能分散もあり得るのではないか。	市の危機管理部において、市全体の防災計画となる「地域防災計画」というものを作っており、災害時にどのように災害復旧活動をするか、本庁舎がどのような役割を担うかが定められており、それに従って本庁舎の防災機能を整備することにしています。
10	1	さいたま新都心には商業施設もあり、車で来られる方も多い。車で来た方が市役所側に流入してくることで、駐車場の出入口の部分で渋滞も発生するのではないか。	駐車場の運用方針は、料金を有料として市庁舎利用の方のみ減免を行う運用を考えており、近隣のショッピングモール利用者の車両が市役所側に流入してくることは少ないと想定しています。
	2	さいたま新都心公園は土日祝日はこどもの利用者も多いので車に対する安全性は配慮してほしい。	環境影響評価で周辺の交通量の調査を行い、交差点などの安全性がどうなるかという点についても適切に評価がされていくものと認識しています。
	3	歩行者デッキの延伸に部分で屋根だけでは風が強い場合横から雨があたることがあるのではないか。	延伸デッキの横風による吹き曝しについては関連法規を参照しながら、法規制上問題ない範囲で検討していきたいと考えています。
11	1	税金だけで賄うのではなく、新都心という立地を活かし、市外・県外から人を呼び込んでお金を落としてもらう発想が必要ではないか。民間施設（温浴施設、宿泊、飲食）を誘致し、そこで稼いだお金で庁舎の維持費を補うような、ポジティブな計画にしてほしい。	「さいたま新都心将来ビジョン」に基づき、まちづくりの牽引役となる施設を目指しており、頂いたご意見を含めて取り組んでいきたいと思います。